

3R体験ツアー2023

えひめのリデュース・リユース・リサイクルを体験しよう！



愛媛県資源循環優良モデル
認定制度シンボルマーク

令和5年7月31日(月)【南予コース】

- 久保興業株式会社／農産事業部
- 愛媛県歴史文化博物館
- 株式会社キクノ／八幡浜工場

令和5年8月9日(水)【中予コース】

- 株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー／エネルギーソリューション事業本部 西日本事業所
- 株式会社愛亀 ●ホテル古湧園 遥
- 株式会社カネシロ



今回の体験ツアーで訪問した企業は、愛媛県において
「愛媛県資源循環優良モデル（スゴeco）」に認定されています。
（※愛媛県歴史文化博物館を除く）

3 R体験 ツアー報告書 目次	3 R体験ツアー 南予コース	3 ページ 久保興業(株)／ 農産事業部
4 ページ 愛媛県 歴史文化博物館	5 ページ (株)キクノ／ 八幡浜工場	3 R体験ツアー 中予コース
6 ページ (株)ダイキアクス・ サステイナブル・パワー／ エネルギーソリューション 事業本部 西日本事業所	7 ページ (株)愛亀	8 ページ ホテル古湧園 遥
9 ページ (株)カネシロ	10 ページ 3 R体験ツアー アンケート①	11 ページ 3 R体験ツアー アンケート②



久保興業株式会社 / 農産事業部

環境に優しいシイタケ栽培！



久保興業株式会社 / 農産事業部

久保興業(株)
金本さん

環境に配慮した製法でシイタケ栽培が行われている様子を見学したよ。

たくさんのシイタケが栽培されていて、普段は見ることがない珍しい様子が見られたね！



久保興業株式会社では、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の考えに基づいて、菌床の原料から栽培過程、廃棄に至るまでエコを考えたシイタケ栽培をしていたね。シイタケを成長させるための温風を作る「ボイラー」の燃料は石油系燃料を使うことが一般的だけど、久保興業株式会社では建築廃材などの木質ペレットを使っていたね！木質ペレットは燃焼効率が高く、CO₂の排出量が少なくて環境に優しいんだよ。また、シイタケを栽培するのに使う菌床ブロックは、使用後に牛ふんと混ぜて堆肥として再利用！シイタケの運搬に使う段ボール



シイタケの原木に興味津々



シイタケのパック詰め

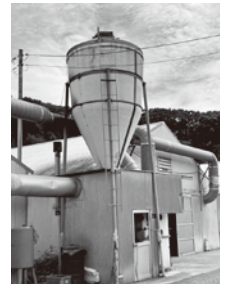
やペレットが入っていた袋は、古紙業者に回収してもらい、再利用しているって教えてもらったね。出荷できないシイタケや収穫で切断したシイタケの軸は、捨てずに牛のエサとして再利用していたよ。とても環境に配慮した方法だね。

ちなみに、シイタケの最盛期は冬なんだってみんなは知ってた？冬はお鍋でキノコをたくさん使うよね！見学させてもらったの

は暑さがきびしい7月で、夏はシイタケの需要が少ないから、生産数を抑えているんだって。必要な時期に必要な分だけ栽培しているのも、「過剰生産をなくす」ことで「廃棄をへらす」につながっていて、とってもエコだね！



シイタケ



ペレットボイラー



参加者の感想

- ☑ CO₂が出ないようにシイタケを工夫して栽培していることがすごいと思った。(小学生)
- ☑ 私も自分にできる温暖化対策をしたい。(小学生)
- ☑ できるだけ環境へ配慮しながらシイタケを育てることでおいしくかつエコに育てることができる。(小学生)

☑ 最終的には肥料となり、土に還る、“食”としてとても大事な循環だと思った。(大人)

☑ シイタケのパッケージにもCO₂削減について書かれていて、買い物のときに気にかけて見たい。(大人)

☑ シイタケ作りにCO₂削減の工夫がされているなんて考えたこともなかったので、これから野菜売り場でも注意して購入したい。(大人)



愛媛県歴史文化博物館

和とじてなあに？手作りメモ帳を作ったよ！



愛媛県歴史文化博物館

愛媛県
歴史文化博物館
原崎さん

メモ帳の製本を体験したよ。
難しくって大変だったけれど、
手作りならではの
楽しさがあったね。
オリジナルのメモ帳、
自分だけの
宝物だね！



愛媛県歴史文化博物館では、和とじメモ帳をみんなで作ったよ。「和とじ」は、江戸時代ころに普及した「糸と針で紙をとじる製本方法」なんだ。みんなが使っている教科書や売られている本のほとんどは機械で製本されているけれど、昔は機械がなかったから、手作業で製本していたんだよ。その製本方法の1つが「和とじ」なんだ。

「和とじ」は紙の束をまとめるのによく使われていたそうだけど、とじ方が意外と複雑で、実際に体験してみると難しかったね。でも、オリジナルのメモ帳ができあがったときはとてもうれしかったね！

当時の日本は紙がとても貴重で、一度使い終わってもすぐに捨てずに、繰り返し利用していたそうだよ。例えば、「メモ」として使い終わった紙を「ふすま」の補強に使ったり、「ちり紙」としてトイレで使ったり。今でも、昔の古いお家のふすまを1枚1枚はがしてみたら、昔の文章が発見されることがあるんだって！当時の人たちが本当に大切に紙を使っていた証拠だね。



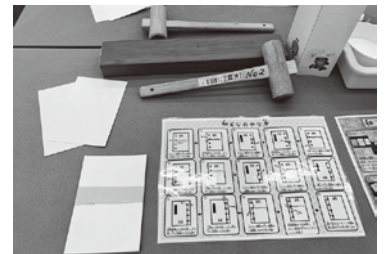
制作風景

今では機械で簡単に作ることができるメモ帳も、自分たちで手作りすると思った以上に大変だったね。便利に何でも買える時代だけれど、昔の人を見習って、物を大切に作る心はいつまでも忘れずにいたいね。みんなで作った和とじメモ帳も、中の紙を入れ替えることで繰り返しメモ帳として使えるよ。大切に使おうね。

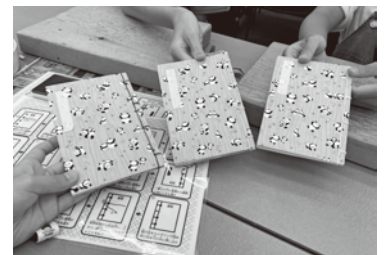
今では機械で簡単に作ることができるメモ帳も、自分たちで手作りすると思った以上に大変だったね。便利に何でも買える時代だけれど、昔の人を見習って、物を大切に作る心はいつまでも忘れずにいたいね。みんなで作った和とじメモ帳も、中の紙を入れ替えることで繰り返しメモ帳として使えるよ。大切に使おうね。



作り方説明



作成資料



完成



参加者の感想

- 🐾 最後まで使った紙をふすまの中に入れて固定させる『リユース』を昔の人がしていたと初めて知った。
(小学生)
- 🐾 昔の人のいろいろな工夫を知ることができた。
(小学生)

- 🐾 中の紙を交換して何度も繰り返し使えることが分かった。
(小学生)
- 🐾 自分も昔の人のように使い続けられるものを使いたい。
(小学生)
- 🐾 間接的に和紙が有効活用されていた歴史を学べ、とても興味深かった。
(大人)
- 🐾 昔の人は、紙を大切に余すことなく使い切って物を捨てるというお話を伺って、物を大切に使い切るという事を考えさせられた。
(大人)



株式会社キノノ八幡浜工場

コンクリートの原料はすべて天然素材！？



株式会社キノノ八幡浜工場

(株)キノノ
谷本さん

コンクリートはすべて、天然素材でできているよ！「セメント」「砂・石」「水」を混ぜ合わせて作られているんだって。コンクリートは環境にも優しい製品なんだよ。



株式会社キノノでは、コンクリート製品のうちの1つ、「ヒューム管」の製造工程を見学したよ。天然素材の「セメント」「砂・石」「水」を混ぜ合わせるとコンクリートになると教わったね。株式会社キノノではコンクリートの原料の「セメント」を55%、鉄を作るときにできる副産物の「高炉スラグ微粉末」に置き換えて、CO₂の削減に貢献しているんだ。セメントを「高炉スラグ微粉末」に置き換えることで、CO₂排出量が45%削減できるんだ。一定の基準を満たしている株式会社キノノのヒューム管には、環境に優しいことを伝えるために「KLC（キノノ・ロー・カーボン）マーク」をつけているよ。



たくさんのヒューム管



セメント練り混ぜ体験

今、社会で使われている土管のほとんどは、今回見せてもらった「ヒューム管」なんだって。鉄筋を組み立てて型にはめコンクリートを流し込んで作られていて、経年劣化が少なく気温の変化に強いから、曲がったり反ったりしにくいんだ！そんなヒューム管の耐用年数は、適切な維持管理をした場合、一般的に50年と言われているそうだよ。半世紀も地面の下で活躍するヒューム管、これからは地面の下でも3Rが行われていると気になってしまうね。



ヒューム管のKLCマーク



ヒューム管のくぐり抜け体験



参加者の感想

- ☑ CO₂をなるべく出さないように工夫してすごいです。（小学生）
- ☑ セメントを減らしながらも、エコになるようにしないといけない。バランスよく。（小学生）
- ☑ CO₂を減らそうとしても、ごみの処理が大変なるのを知らなかったのが驚いた。（小学生）

- ☑ がれきやごみを使ってコンクリートを作れるのがすごいと思った。（小学生）
- ☑ 低炭素型コンクリートにすることによるメリット・デメリットを聞くことができ、とてもよく環境を全体的に捉えられている会社だと思った。（大人）
- ☑ ヒューム管の作られる工程にびっくりした。スゴecoマークが土の中にも埋まっているなんてすごい！CO₂削減は人々の工夫と努力の賜物だと思った。（大人）

株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー／
エネルギーソリューション事業本部 西日本事業所

使用済み天ぷら油で走る車！？



株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワー／エネルギーソリューション事業本部 西日本事業所

(株)ダイキアクシス・サステイナブル・パワー
亀井さん

使用済み天ぷら油がとっても
エコでクリーンなバイオ燃料の
「D・Oil」に生まれ変わって
いることを
教えてもらったよ！
みんなで協力して
地球を守ろう！



株式会社ダイキアクシス・サステイナブル・パワーでは、家庭や事業所から回収した使用済み天ぷら油をリサイクルして、エコマーク認定のバイオ燃料「D・Oil」を作っているよ。使用済み天ぷら油を1リットル回収すると、約2.5kgものCO₂を削減できるんだ！

この取り組みは、使用済み天ぷら油をもっと活用する「油～モアプロジェクト」のひとつで、より多くの人に使用済み天ぷら油のリサイクル活動を知ってもらえるように取り組んでいるんだ！「油～モアプロジェクト」を広めるために、オリジナルキャラクターの「 Doyleくん」と「ぐるぐる博士」がみんなの街で使用済み天ぷら油を回収しているよ！みんなのお家の近くのDCMや公共施設で回収しているから、ぜひ家庭から出た天ぷら油を持っていこう！

実際に使用済み天ぷら油をリサイクルする実験もしたよ。使用済み天ぷら油を温めて、メタノールと水酸化カリウムを入れると、エステル交換反応が起こって、バイオディーゼル燃料とグリセリンが作られるんだ！

使用済み天ぷら油は、水と一緒に流したり捨ててしまったりすると、水を汚して環境悪化を引き起こしてしまうけれど、集めてリサイクルをすれば、とってもエコなバイオ燃料「D・Oil」になるということが分かったね。「D・Oil」はディーゼル車の燃料になったり、発電機やボイラーの燃料になったりして、活躍しているよ。私たち一人ひとりの少しの力が、地球環境を守る大きな力に変わるんだ！

Doyleくんとぐるぐる博士が
使用済み天ぷら油を回収しているよ！

使用済み天ぷら油をきれいにする実験をしたね

使用済み天ぷら油がきれいになる過程を
教えてもらったね

中にも大きな機械があったね



参加者の感想

- 👂 油をリサイクルするのはとても環境にいいと思った。
(小学生)
- 👂 揚げ物をした時の油がこんなことになるのだと驚いた。
(小学生)

- 👂 使い捨てていた油をリサイクルすることで、使う燃料が少なくなることが分かった。
(中学生)
- 👂 身近なところで再利用されていることは知らなかった。今後は一般家庭用に利用できるようになったらよいと思った。
(大人)
- 👂 愛媛県の市町でかなりバイオディーゼル燃料を使っているのが驚いた。
(大人)



株式会社愛亀

ペットボトルキャップが道路に！？



株式会社愛亀



(株)愛亀
早瀬さん

「道路ができるまで」について勉強したよ！
道路の原料には、
がれきや
私たちの飲んだ後の
ペットボトル
キャップが
使われているんだ！



株式会社愛亀では、道を利用するすべての人が快適に通行できるように道路の舗装やメンテナンスをしたり、その材料を供給したりしているよ。環境への取り組みにも力を入れていて、安全性や耐久性をクリアした各種廃材等を使って、舗装原料の混合物として利用。循環型・低炭素社会を実現するために日々努力しているんだ！

再利用された混合物は、半分程度の割合で実際の道路を舗装するアスファルトとして使用されているよ。でも混合物は高熱に弱くて、熱でゆるくなってしまうと教わったね。そこで私たちが普段飲んでいるペットボトル飲料のキャップが活躍！ペットボトルキャップの粉碎物を混合物に混ぜると強度が上がって、強いアスファルトになるんだ。これで強度試験もクリア！だから、飲んだペットボトルのキャップは捨てずにフジの店頭に持っていこう！

また、株式会社愛亀が持つ4カ所のアスファルトプラントは、愛媛県内ほぼ全域への供給をカバーしているよ。愛亀グループの考える循環型・低炭素社会の形成を考えたりサイクルシステムとCO₂削減技術からなる「Re



ペットボトルキャップが活躍していたね

技術」が生み出すリサイクル資材も積極的に配合・供給し、時代・社会・現場に柔軟に対応した取り組みをしているんだ。

私たちの生活に欠かせない道路にも、3Rが関わっていたね。私たちもペットボトルキャップの回収などのできることに協力して、強い道路を作ってもらおう！



3Rの取り組みについて教えてもらったね



道路になる前の材料だ！



ここでアスファルトが練られてつくられているんだ！約180℃もあるんだって！



参加者の感想

👉 道路がどのように作られているのか不思議だったので知れてよかった。(小学生)

👉 リサイクルに特化した道路作りを行っているのがすごいと思った。(小学生)

👉 道路のへこみがペットボトルを利用した道路の方が少

ないことがすごいと思った。(小学生)

👉 ペットボトルのキャップを捨てていたが、道路に使えることを知って、環境にやさしいと思った。(中学生)

👉 単にエコのためだけでなく、ペットボトルキャップを混ぜることで耐久性が高まるのが分かり、とても勉強になった。(大人)

👉 ペットボトルだけでなく、ごみの灰やアスファルトの再利用などリサイクルしており素晴らしかった。(大人)



ホテル古湧園 遙

太陽の熱の力で温泉に入れるって本当？



ホテル古湧園 遙



ホテル古湧園 遙
新山社長

太陽の熱を利用して
お湯をつくって、
お風呂をわかしていたよ！
石油やガスの力を使わずに
お風呂に
入れるなんて
とっても
エコだね！



ホテル古湧園 遙では、愛媛県初のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）認証を取得した事業所として、「ハイブリッド給湯システム」や先進の「空調システム」による1次エネルギー消費量の大幅な削減を実現しているよ。ZEB工法だと従来の工法よりも61%もの省エネになるんだ！1次エネルギーは、石油や石炭、太陽熱などの加工されていない状態で供給されるエネルギーのことだったね。

「ハイブリッド給湯システム」では、ホテルの屋上にあった太陽熱集熱器と空冷ヒートポンプチラーが活躍していたよ。太陽熱集熱器が太陽の熱の力でお湯をつくって、空冷ヒートポンプチラーの電気のお風呂をわかすんだ。電気のお湯を温めるよりもCO₂の排出量が少ないんだって！

また「空調システム」のひとつには、客室や温泉の窓にLow-E複層ガラスが使われていて、従来の窓ガラスよりも保温性や断熱性に優れていると聞いたね。エアコンの温度を調整しなくても、年中快適な室温を保てるんだ！



二重窓で太陽の熱を防ぐよ！

ホテル古湧園 遙はこのような環境保全推進活動が認められて、令和4年度気候変動アクション環境大臣賞や第7回愛媛ふるさと環境大賞を受賞しているよ。最先端の技術を使って環境問題に取り組んでいる姿を見習って、私たちもエアコンの温度を下げすぎないとか、使っていない部屋の電気をこまめに消すなど、できるところから少しずつ取り組まないとな！



温めたお湯をためているよ



太陽熱パネルがたくさん並んでいたよ



ホテルの取り組みについて勉強したね



参加者の感想

☞ 「太陽熱パネル」というものを知れた。 (小学生)

☞ 60%以上、CO₂を削減できるのはすごいと思った。 (小学生)

☞ 初めて太陽熱集熱器を見た。中に水ではないものが入っていて液体で液体を温めているのがすごいと思った。 (小学生)

☞ たった1人のせいで環境が崩れることが分かった。 (中学生)

☞ 湯を沸かす仕組みや部屋の工夫など徹底的に環境に配慮されたつくりであり、環境省からの表彰も納得だった。 (大人)

☞ 太陽光パネルは知っていたが、太陽熱利用というのは初めて聞いた。太陽熱パネルを利用して、エネルギーを60%もカットして、エコだと思った。 (大人)



株式会社カネシロ

使わなくなった紙が私たちのノートに！？



株式会社カネシロ

(株)カネシロ
青木さん

古紙をリサイクルして
新たな紙に生まれ変わる仕組み
を教えてもらったよ！
みんなで
古紙回収に
協力しよう！



株式会社カネシロでは、使い終わった紙（古紙）を集めてリサイクルをしているよ。「紙の地産地消」を掲げていて、愛媛で集めた古紙を愛媛の製紙工場で再生紙に生まれ変わらせて、愛媛の企業や家庭に届ける取り組みに力を入れているんだ。再生紙を愛媛県外の遠くに運ぶと時間も費用もかかり、輸送でのCO₂が発生してしまうけれど、「地産地消」なら、それらを抑えることができるから、とっても環境にいいよね！

株式会社カネシロの3Rの取り組みについて勉強したあとは、古紙を水に溶かしてハガキとしてリサイクルをする「紙すき体験」をしたよ。古紙を再生紙に生まれ変わらせるためには、匂いがするものや油污れがついたもの、金や銀が箔押しされたものが混ざっているとだめなんだ。古紙をきちんと分別することで、再生紙としてリサイクルされると実感できたね。



紙すき体験をしたね

工場見学ではみんなの街から集められてきた古紙が仕分けをされて、製紙工場に運べるように圧縮されているところを見ることができたね。圧縮された紙のブロックの重さは、約1トンもあるんだって！毎日たくさんの古紙がリサイクルをされて、新たな再生紙に生まれ変わっているんだね。

みんなのお家で捨てる紙もしっかりと分別して古紙回収に出して、リサイクルに取り組みうね。私たち一人ひとりの力で限りある地球環境資源を守っていこう！



集められた紙が仕分けされてるよ



街中の回収された紙が集まってきているよ



集められた紙がブロックになって製紙工場に送られるよ



参加者の感想

- ☑ 段ボールから段ボールにかわるのがすごいと思った。(小学生)
- ☑ 紙の処理・リサイクルの仕方が分かった。(小学生)
- ☑ カネシロに古紙を持っていくようにしたい。(小学生)

- ☑ 実際回収した紙をどう処理しているのかが見ることができてよかった。(大人)
- ☑ 少しの紙ごみは可燃ごみで捨てていたが、面倒でも紙ごみとしてまとめ、捨てるのがCO₂削減につながることに改めて気づいた。(大人)
- ☑ 紙の種類ごとにきちんと分別することで、再生紙にしやすいことが分かった。(大人)
- ☑ 紙すき体験によって古紙から紙が再生するのが実感できた。(大人)

3R体験ツアーアンケート①

アンケート回収枚数：56枚（回収率98%）

参加者総数57名（子ども40名、大人17名）

参加者年代

小学生	35
中学生	1
高校生	2
大人（年代記入なし）	2
20代	0
30代	4
40代	7
50代	1
60代以上	3
無回答	1

（単位：人）

子どもを中心に、様々な年代の人が参加してくれたよ。

いろいろな企業のお話を聞いたり、普段は入れない場所を見学したりすることができたね。

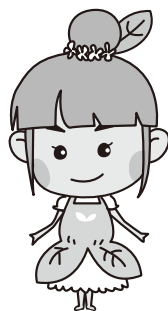
環境のことをいろいろと勉強できたね。



参加した感想をおしえてください。

とてもよかった	40
よかった	9
あまりよくなかった	1
よくなかった	0
無回答	6

（単位：人）



たくさんの方が楽しんでくれたみたいでよかった！

自分の目で見て、触れることができてよかったね。

実際に体験して感じたこともたくさんあったね。

いい思い出になったね。

また、参加したいですか。

はい	52
いいえ	3
無回答	1

（単位：人）

多くの方がまた参加したいと思ってくれていて、うれしいな！各企業の環境に配慮した製品や仕組み、努力を見ることができたね。

今回のツアーをきっかけに、環境に良いことをみんなが生活の中で実践してくれるようになったら、ひめこ、感激！

知ったきっかけ。（複数回答有）

愛顔のえひめ	6
リビング、リック	12
インターネット	12
チラシ	11
知人からの紹介	16
愛媛県からの案内	3
その他	6
無回答	1

（単位：人）

いろいろなきっかけから応募してくれたんだね。みんなにこのツアーをもっと知ってもらえるよう、これからはがんばるね！今回のツアーを「いいな」と感じてくれていたら、ぜひお友達にもツアーのことを教えてあげてね。



3R体験ツアーアンケート②

参加してくださった皆さんに今回のツアーの感想を聞きました。今回のツアーを通して、3Rに対する考え方や、取組みに興味を持っていただき、普段の生活でも3R活動に取り組んでもらいたいと思います。

■「リサイクル」のイメージはこれまでと比べてなにか変わりましたか？

南予コース

- ・プラスチックをリサイクルするというのは、分別して捨てればよいと思っていたが、できるだけ捨てずに、使うこともやめるとのことだと知った。(小学生)
- ・これからもっともっと意識して、物を大切にしたい。(小学生)
- ・動画で海のごみがたくさん捨てられているのを見て、以前よりもリサイクルの大切さを感じた。(小学生)
- ・個人目線ではなく、企業目線の3Rを知って、企業の努力を知った。(高校生)
- ・TV番組や他媒体でいろいろ企業が3Rに取り組んでいることを以前から知っていたが、愛媛県内の企業も努力していることを知れてうれしく感じた。(大人)
- ・リサイクルは捨てる物をもう一度使える物に再び使い回すと思っていたけれど、別の物に再資源化するのだと思った。(大人)

中予コース

- ・リサイクルは繰り返し使うというイメージだったが、形を変えて使うこともあると知った。(小学生)
- ・リサイクルのことをあまり意識していなかったが、意識しようという気になった。(小学生)
- ・家では分別をしていないからその分別をしてリサイクルしたい。(小学生)
- ・油やペットボトルのキャップは今まで捨てていたが、集めて持っていきだけで再利用できるなら実践できそうだった。(大人)
- ・資源ごみがこのように生活に生かされていることを知り、改めてごみとしてではなく、資源として出しているのだという意義が深まった。(大人)
- ・より多くリサイクルするため、きちんとごみの分別をすることが大切だと改めて思った。(大人)

■これから3Rを進めるために何をすればよいと思いますか？

南予コース

- ・ポイ捨てをしない。1人は小さいけれど、みんながやれば大きくなる！(小学生)
- ・自分にできること(ごみをなるべく出さない、少しずつCO₂を出さないことを心がけ、使い終わったものをリサイクルするなど)をみんなが意識すれば、少し環境が変わると思う。(小学生)
- ・簡単なことからでいいので、ごみ分別やプラ製品をあまり使わないなど、使い続けられる物を使う。(小学生)
- ・個人個人が3Rを意識してCO₂削減している製品、食品を食べたり、リサイクル運動はもちろん、家庭のごみ分別をきちんと守る。(大人)
- ・こまめに電気を消す、服をすぐ買って捨てたりせず、リサイクルショップを活用する。(大人)
- ・物を長持ちさせて使う。エコな商品を選択する。(大人)

中予コース

- ・きちんとリサイクルに出す。(小学生)
- ・物を大切に使う。(小学生)
- ・ごはんを食べ残さないこと。(小学生)
- ・実践できそうなことから始める(資源ごみを分別する・エコバッグを持ち歩く等)。(大人)
- ・身近なところから子どもの手本となるよう率先して自分のできることをしていきたい。(大人)
- ・必要のないものは買わない。(大人)



3Rとは？

①Reduce（ごみを減らす）、
②Reuse（くりかえし使う）、
③Recycle（再資源化する）の
頭文字「R」をとったもので、
「循環型社会づくり」を進める
キーワードだよ。



愛媛県イメージアップキャラクター
みきやん

主催 愛媛県

「3R体験ツアー」は、愛媛県資源循環優良事業者連絡協議会（Re-えひめ）
が愛媛県の委託を受けて実施しました。

お問い合わせ先

愛媛県 循環型社会推進課 計画推進グループ

TEL 089-912-2356

E-mail:junkan-shakai@pref.ehime.lg.jp

こちらもぜひ
ご覧ください！



「えひめの循環型社会づくり」愛媛県 HP
<https://www.pref.ehime.jp/h15700/4731/>

えひめの循環 検索



Re-えひめFacebook ひめこが活躍中だよ
<https://www.facebook.com/reehimeco>



Re-えひめInstagram インスタでも発信中♪
https://www.instagram.com/re_ehime/

